おかめが池の人魚　　奈良県

むかし、ひとりの侍が、馬に乗って旅をしていました。

おかめが池のほとりを通りかかると、むこうから、きれいな女が子どもを抱いて歩いてきました。女は侍に、

「水浴(あ)びをしたいので、そのあいだ、この子を抱いていてくださいませんか」といいました。そして、侍に子どもを渡し、ザッパーンと池に飛びこみました。侍がびっくりして見ると、女は、腰から下が魚になって泳いでいました。女は、そのまま水の底深く消えてしまいました。

侍は肝(きも)をつぶしました。そして、抱いてる子どもをふと見ると、子どもは冷たい石になっていたそうです。

おしまい。

村上郁　再話

資料　『大和の伝説（増補版）』高田十郎／大和史蹟研究会